

(1)本中山三丁目、本中山四丁目、本中山五丁目

人口	昼間人口	6,007人	夜間人口	9,359人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	3.0~5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合		
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合		
	液状化発生の危険性	真間川沿いで「極めて高い」、そのほかのほぼ全域で「高い」または「やや高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合		
基本となる避難方法	避難方法の考え方	避難方法A:避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。		
		<p>地震発生</p> <p>40分</p> <p>70分(第一波到達)</p> <p>避難対象地域の外に避難</p> <p>頑丈な建物の上階等へ緊急避難</p> <p>避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。 ※避難路は、真間川沿いを一部通過することになるため、津波到達時間等に十分注意し、避難を行う。</p>		
	避難目標	京成本線		
	避難先	西部公民館 (津波一時避難施設):小栗原小学校		
推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から真間川を越えて京成本線方面へ。 避難路②から真間川を越えて京成本線方面へ。			
(参考)周辺の津波一時避難施設	スーパーオートバックス市川 立体駐車場			
	※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。			

対象地区を含む周辺図(および周辺の避難施設・避難路・避難方向)

避難目標 京成本線 避難先 西部公民館、(津波一時避難施設)小栗原小学校

- 避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。
- 下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。

凡例

- 水色の矢印は、代表的な避難に使う避難路を示します。
- 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の線は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。
- 津波一時避難施設を示します。
- この対象地区の境界線を示します。

千葉県津波浸水想定による浸水深

0.3m 未満	0.5m 以上 1.0m 未満	3.0m 以上 5.0m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満
0.3m 以上 0.5m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 令元情複、第551号)